



協会だより

Japan Tourism Facilities Association

No.123



10月

発行 / 公益社団法人国際観光施設協会

総務委員会

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋

2-8-5 多幸ビル九段2階

TEL03-3263-4844

FAX03-3263-4845

E-mail : kankou01@syd.odn.ne.jp

URL : <http://www.kankou-fa.jp>

2019年10月1日

ツーリズムにSDGsを

副会長 大内政男

本年も、特殊要因の影響を鑑みても訪日外国人数は全体として増加傾向を維持しており、また、より多くの国から来日し、より多くの場所を訪問するようになりました。海外の方から日本の魅力が広く認識・理解されるようになったという事であり、同時に日本のツーリズムが、より厳しく評価されていくという事でもあります。観光の魅力は「自然、気候、文化、食事」という4つの要素が大事といわれていますが、日本はこの4つの要素を備えた数少ない訪問地と考えられています。しかし、この4つの要素が今、危機に晒されているというのは少々大袈裟でしょうか。度重なるゲリラ豪雨や台風の襲来、酷暑、海流の変化や乱獲による漁業資源の枯渇、穏やかな四季の変化が作り出した日本の文化や食物が、地球環境の変化によって苛まれている現実があるのではないのでしょうか。

最近、SDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標) という言葉を耳にする機会が増えています。このSDGsは「誰一人取り残さない (No one will be left behind)」という理念のもと、地球温暖化や環境の保全に限らず広く社会・経済・

環境・文化・平和安全といった社会的課題を解決するため、2015年に全会一致で国連加盟国が採択した人類が取り組むべき開発目標であり行動指針です。既に欧州ではツーリズムのグローバルな評価・行動指針としてこのSDGsを取り込み、国際的な認証制度も創設されました。日本でも一部のホテルやツアー企画でこのSDGsの取り組みをホームページなどで紹介し、差別化につなげています。とはいえ残念ながらまだまだ少数であり、日本のツーリズム全体の動きには至っていないというのが現状です。

ツーリズムは環境の保全は勿論、文化の多様性、人々の相互理解や平和、雇用創出、経済成長に大きく寄与し、又、大きな影響を与えます。世界のGDPの10%を創出し、日本のGDPへの寄与度も今後急速に増大していくことが確実視されている今、日本のツーリズムへの評価も確実に厳しくなってくると思います。オリンピックの開催を1年後に控え、ツーリズムの健全な発展のため、SDGsというグローバルな行動指針への取り組みが、今後、日本でも最も重要な課題としてクローズアップされるのではないのでしょうか。

調査研究のプラットフォームとしての技術委員会

技術委員会 野出木貴夫

技術委員会は、委員各位が社業で培ってきた見識、情報などをもとにしながら、社業ではなかなか取り組みにくいテーマ・分野などをターゲットに、フリーで柔軟な調査・研究を推進するプラットフォームを目指しています。昨年は「旧・ホテル都市分科会」と「旧・旅館観光地分科会」を統合させ「ホテル&リゾート分科会」として活動の新展開を試みましたが、テーマが広範になりすぎたことや、委員数が著しく多くなる一方で、会議体が散漫となり参加者の停滞を招き効果以上に弊害が少なからず生じてきました。

今年度は委員会構成を見直し、初心に戻り、それぞれ新生の「ホテル都市分科会」と「旅館観光地分科会」、さらに「観光交流空間のまちづくり研究会」という2分科会+1研究会を発展的に発足させ、それぞれテーマの深耕に努めています。これに加え昨年同様、インテリア分科会、耐震研究会、エコ小・委員会を加えた、計3分科会、2研究会、1委員会の6グループにて活動を推進していきます。

ここでは紙面に限りがあり、それぞれ内容の報告ができませんが、10月9日に開催されますCSV中間報告会にて各グループの活動報告をさせていただきます。ご期待いただくとともに、皆様の積極的な支援、参加を期待したいと思います。

建築部会の活動状況とこれからの予定

建築部会長 崎山 茂

平成から令和に移る今年に入り建築部会ではNOHGA HOTEL、ホテル京阪築地銀座グランデ、ホテルプルマン田町、第4回水上セミナーを開催してきました。全てに多くの方々に参加いただき、成功裡に終えることが出来ました。

今年中に紅葉の肥後細川庭園の見学会、江東の荒川近くを巡る今年2度目の水上セミナーを企画しています。6月の第4回水上セミナーでは、五輪施設工事現場の状況と共に貯木場としては使われていない新木場の現状をも目にしました。この3年間継続している東京湾岸に観光資源としての魅力を探る試みに加え、水上交通や河川上流地域と下流の都市の関係に関わる学習が全て繋がっているのを感じています。

設備部会の活動状況とこれからの予定

設備部会長 藤野健治

設備部会では、「地球環境保全関係の情報を収集研鑽し広める活動」「会員企業にとって興味のある施設の見学を通じて新技術等に関する幅広い知識を習得する活動」等を行っております。

令和元年度の事業計画としては、2回(元年10月と2年1月に開催予定)の施設見学会と1回の設備部会全体交流会(元年11月開催)を予定しており、幹事会にて実現に向けた打合せを進めています。見学会では会員各社の新製品・施設のご紹介や関心の高い施設の見学を行うとともに懇親会を行って会員相互の親睦を図る予定です。また、見学会および交流会の概要は機関誌に掲載し皆様に情報発信致します。

インテリア部会の活動状況とこれからの予定

インテリア部会長 寺本昌志

本年度もインテリア部会は、四つのグループに分け活動をおこなっておりますが、今年から四つのグループの内、施設見学グループは宿泊施設見学グループと名前を変え小規模のホテルを中心に見学会をすることに、また企業見学グループは注目施設見学グループとして観光に関連し注目されている建物やインテリアに関する見学を行う事となりました。その他セミナーグループ、新情報発信グループはこれまで通りの内容で活動しております。今年度の活動では新情報発信グループが7/18に「船旅の楽しみ方・誤解だらけのクルーズ選び」と題し稲葉なおさんにお話頂いており、宿泊施設見学グループでは8/6にビスポークホテルの見学会を行いました。

今後の予定としてはセミナーグループが9月にオープンした「The Okura Tokyo」の見学会と講演会を11月或いは来年2月頃に予定しています。また注目施設見学グループでは10/24に小田原文化財団 江之浦測候所の見学会を予定しています。その他宿泊施設見学グループ、新情報発信グループでも本年度中の開催企画を考えておりますので、会員の皆様の積極的な参加を宜しくお願い致します。

「ビスポークホテル新宿」見学会 報告

インテリア部会

宿泊施設見学グループリーダー 稲垣雅夫

8月6日(火)猛暑の中、見学者30名スタッフ10名で見学会、セミナーを開催しました。既存のビルをホテルにコンバージョンした現場を見学し、セミナーで設計手法の説明を受けました。又、1階のフロントはキオスクと一体化した新しいアイデアで設計されています。ラウンジも2層吹抜で素晴らしい空間になっていました。

今回は非常に勉強になった見学会になりました。

第48回 2020

国際ホテル・レストラン・ショーのお知らせ

ホテルズ実行委員会 委員長 浅野 一行

第48回2020国際ホテル・レストラン・ショーは、令和2年2月18日(火)~21日(金)に開催されます。但し、会場はいつもの東京ビッグサイトが、東京オリンピック・パラリンピックの関連機関に使用されていることから、今回は幕張メッセでの開催となります。オリンピックイヤーを迎えての開催で、注目度は一層高まることでしょう。

さて、来たる10月9日(水)には、CSV中間報告会が開かれ、今年度の活動の概要が報告されます。皆様、出席の申し込みは済まされましたでしょうか。そして、すでに皆様のお手元には、ホテルズショーの参加申込書が届いていると思います。ホテルズショーへの参加は、協会CSV活動の年間総括事業と位置づけされており、全員参加の理念のもと、個人・賛助会員を除く全協会会員に参加をお願いしています。参加形態は、

1. テーマ展示参加：80,000円
(ブース展示・ショートセミナー・ゲート社名表示)
2. CSVパネル参加：50,000円
(パネル展示・ショートセミナー・ゲート社名表示)
3. CSV社名参加：20,000円
(ゲート社名表示)

の3つです。

ホテルズショーは、会員企業の皆様の技術・ノウハウを社会に広くPRできる場です。是非、協会CSV活動の主旨をご理解の上、「日本のこころ」の総合テーマにそって、こころを一つにして、ショーに参加していただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

12月5日(木)忘年交歓会 予告

地域エコノミスト 藻谷浩介氏 登壇決定!

事業委員長 岡野正人

年末恒例の忘年交歓会が12月5日(木)に、飯田橋の ホテル メトロポリタン・エドモントを会場に開催されます。今年のセミナーには、8年ぶりに、地域エコノミスト・経済評論家として高名な藻谷浩介氏をお招きして、『浮かれるな!観光立国・日本(仮題)』をテーマに講演して頂く予定です。「日本の頭脳」の一人で、厳しい世相評論と地域に根差す経済活動を提案しておられる藻谷浩介氏に、2020年オリンピック・パラリンピックを目前にして、観光立国に浮かれ

る日本に、歯に衣着せぬ厳しいコメントを頂く予定です。特に最近、開発途上の国々を積極的に取材され、世界の現場から日本を観る活動をされています。国内外の豊富な取材旅行経験を通して、現場を知る評論家として、日本の観光のあるべき姿についても厳しく語って頂く予定です。興味深いお話しに、期待が高まります。ご期待ください。

セミナーに続く忘年交歓会では、会員相互の親睦を深め、皆様のネットワークを一層広げて頂きます。美味しいお食事と共に皆様とご歓談頂きたいと思えます。お楽しみとしては、例年に増して素敵な景品の当たるビンゴ・ゲームで盛り上がり頂く予定です。こちらも乞うご期待。

忘年交歓会は12月5日木曜日です。

新入会員紹介 (入会順)

[メーカー]リョービ株式会社

(代表者)取締役 執行役員 (担当者)建築用品本部営業部
鈴木 隆 マネージャー 福原義久
〒114-8518 東京都北区豊島 5-2-8
TEL03-3927-5533 FAX03-3927-9415
営業内容:ダイガスト、建築用品、印刷機器

[賛助会員]中津川・白川・東白川地域林業成長 産業化推進協議会

(代表者)会長 (担当者)林業専門監
加藤一昭 中島 太
〒509-1192 岐阜県加茂郡白川町河岐 7158
(白川町役場 農林課内)
TEL0574-72-1311 FAX0574-72-1317
営業内容:森林資源の活用を推進する

第113回ゴルフ会の次回予告

会長代行 杉浦 司

恒例の国際観光施設協会の秋のゴルフコンペを下記のとおり開催致します。

日 時 : 令和元年11月7日(木)
コ ー ス : 立野クラシックゴルフ倶楽部
プレイ費 : 約21,000円
(キャディ付・昼食1ドリンク付き・パーティ)各自精算
会 費 : 4,000円

コンペ終了後は表彰式と懇親会、賞品も多数用意しております。会員の皆様の親睦の場として、お誘いあわせのうえ、多くの参加をお待ちしております。

◎編集後記◎

10月9日(水)CSV中間報告会が開催されますが、協会活動の共通のテーマでありますCSVの理念のもとで進められております各分野のこれまでの活動の成果とこれからの計画をお聞きすることができる貴重な機会です。また相互の大切な情報を交換させる絶好の機会でもありますので、是非全員参加で臨みたいと存じます。

Y.K